

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	グループホーム理念について法人全体の理念を掲げておりグループホームの特性を活かせていない事、職員間で認識や捉え方が違う為、ケアの考え方にばらつきがある。	グループホーム独自の理念を作成するとともに基本方針し共通目的を持って日々のケアに携わる事ができる。	まずは役職者でグループホーム独自の理念を作成し掲げる。会議内で理念内容を一つ一つ読み解き全職員が共通認識を持つ。定期的に日々のケアに対し見直す時間を設ける。	6ヶ月
2	3	運営推進会議を活かした取り組みについて2ヶ月に1度開催している会議内で出された意見やアドバイスについて職員間で検討する機会を設けられていない。	運営推進会議内で出された意見やアドバイスに対し全職員で検討し実践できる仕組みができる。	運営推進会議開催月にフロア会議を開催している為、意見やアドバイスが出た内容に対し提起、検討する。また参加できない職員に対しては議事録で周知徹底を図る。	3ヶ月
3	7	運営に関する利用者、家族等の意見反映について双方向に意見や情報交換する機会が設けられていない。	個別の意見交換や全体周知がなせる仕組みづくりができる。	意見箱の設置と定期的に広報誌発行する為の委員会を立ち上げる。	3ヶ月
4	20	職員間や業務都合が優先的に考えられ入浴は基本的に午前中に固定している事から入居者様の要望や意思決定、がなされていない。	入浴できる時間が午前・午後に増やし入居者様一人一人の要望や意思決定で入浴ができる。	優先すべきケアや関りについて職員とともに振り返りを行い必要に応じて業務内容を見直し、入居者に午前、午後の入浴について声掛けし希望に沿ったケアを実践する。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

注) 完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。